

就活生の「自殺念慮（生きづらさ）」に関する実態調査について

1 目的

- 1) 就職失敗が原因とされる自殺が急増している背景を明らかにし、若年世代への効果的な自殺対策（生きる支援）を模索すること
- 2) 実態調査によって明らかになった内容を広く社会で共有し、対策の必要性を訴えること
- 3) 実態調査の結果を踏まえて、大学生にとって必要な支援策情報を検証しそれらをパッケージにした若者向けの啓発ツールを開発すること

2 実施主体

特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク

3 事業内容

- 1) ライフリンクが学生有志と協働して、都内の大学や大学院に通う就活生への聞き取り調査を実施する
- 2) 実態調査の分析結果を広く関係者間で共有できるように、シンポジウム形式で社会に情報発信する(3/30(土)午後には都内で開催予定)
- 3) 就活生が心理的に追い詰められたり、自殺念慮を抱えたりしたときに、どこに相談すればいいかがすぐに分かるような啓発ツールを開発する

4 実態調査の対象者

現在就職活動に取り組んでいる大学3年生及び大学院修士1年生

5 調査方法

自殺対策に関心を持ち、これまでライフリンクの活動に関わりのあった学生有志とライフリンク事務局によるプロジェクトチームが調査員となり、同意を得た就活生への調査を実施（質問紙による調査）

※内定などの差が出てきて、心理的な負荷が高まる時期（7月頃）に追跡調査を予定

※韓国、トルコにおいても同様の調査を実施し、国際的な比較もしていく

6 調査事項

基礎情報（属性）、就活について、就活支援について、働き方への意識、社会についてのイメージ、普段の生活、個人の価値観、相談・自殺念慮など